

82

Tokyo Mitaka Philharmonia

トウキョウ・ミタカ・フィルハーモニア 第82回定期演奏会

Tokyo Mitaka Philharmonia The 82nd Subscription Concert

沼尻竜典 (音楽監督・指揮)

Ryusuke Numajiri
Music Director and Conductor

横山幸雄 (ピアノ)
Yukio Yokoyama, Piano

吉野直子 (ハープ)
Naoko Yoshino, Harp



©アートアンソニー



©Akira Muto

トウキョウ・ミタカ・
フィルハーモニア (管弦楽)
Tokyo Mitaka Philharmonia
Orchestra



©二橋典一

©Yusuke Takamura

三鷹ゆかりの二人のソリストを迎えて贈る 特別ガラ・コンサート

Program

ロドリゴ：アランフェス協奏曲 (ハープ版)

Rodrigo: Concierto de Aranjuez (version for Harp)

ラヴェル：ピアノ協奏曲ト長調

Ravel: Piano Concerto in G major

シューマン：交響曲第2番ハ長調 op.61

Schumann: Symphony No.2 in C major, op.61

14:30 開演 みたかジュニア・オーケストラによるプレ・コンサート

15:00 開演 トウキョウ・ミタカ・フィルハーモニア 第82回定期演奏会

リハーサル見学会

本公演の前日に行われるリハーサルの一部をご覧いただく見学会です。

2021年3月12日 [金] 14:00-15:00

【要予約】Tel: 0422-47-5122 【定員】60名

【参加方法】本公演のチケット持参の方は無料。見学会のみの方は当日500円。

※2階正面席よりご覧いただけます。※リハーサルの曲順は未定です。予めご了承ください。

2021年 **3月13日 [土]** 15:00 開演 (14:00 開場)

Saturday, March 13, 2021 / 15:00 Mitaka City Arts Center

三鷹市芸術文化センター風のホール

三鷹市上連雀6-12-14

チケット発売日 マークル会員 12月9日 [水] / 一般 12月16日 [水]

料金 (全席指定) マークル会員 S席6,300円・A席5,400円 / 一般 S席7,000円・A席6,000円 / U-23 (23歳以下) 4,000円

●三鷹市内在住または在学の小学生から高校生2,500円* *会員・一般券のご購入者と同様の場合のみ適用。電話予約のみ。
※未就学のお子様のご入場はご遠慮ください。※U-23利用の中学生以上の方は、公演当日に身分証明書をご持参ください。
※風のホールは2階席へのエレベーターがございませんので、階段でのご案内となります。

プレイガイド

- 三鷹市芸術文化センター 発売初日は以下の方法で午前10時から発売を開始し、窓口販売はございません。
- ・電話予約 チケットカウンター 0422-47-5122 [午前10時-午後7時/月曜休館/月曜が休日の場合は開館し、休日を除く翌日・翌+日が休館]
- ・インターネット予約 <https://mitaka-art.jp/ticket> *事前登録 (無料) が必要となります。*携帯電話からの場合、座席は自動探索です。
- イープラス <http://eplus.jp>

主催・お問い合わせ 公益財団法人 三鷹市スポーツと文化財団 0422-47-5122

トウキョウ・ミタカ・フィルハーモニア第82回定期演奏会の

聴きどころ

三鷹市出身の指揮者、沼尻竜典が音楽監督を務めるミタカ・フィルハーモニアは、2020年11月に創立25周年を迎えました。本公演は、新型コロナウイルスの影響で中止となった第80回定期演奏会のプログラムを一部変更してお贈りします。ソリストには、同公演で出演する予定であった三鷹市出身の横山幸雄、三鷹市内の大学で学んだ吉野直子のお二人が決定。祝祭的なプログラムを披露します。

最初に演奏されるのは、ギターとの協奏曲として不動の人気を誇るロドリゴの「アランフェス協奏曲」のハープ版です。ソロは、第9回イスラエル国際ハープコンクールに17歳で優勝し、国内外のトップクラスのアーティストやオーケストラとの共演を重ねる日本を代表するハーピスト、吉野直子。風のホールには20年ぶり5度目、そのうち沼尻 & ミタカ・フィルとはトウキョウ・モーツァルトプレーヤーズ時代以来2度目の共演となります。吉野が奏でる美しく繊細、華麗で豊かな音色のハープとオーケストラとの掛け合いから、この薫り高い名曲に新たなドラマが生まれることでしょう。

“管弦楽の魔術師”ラヴェルの「ピアノ協奏曲ト長調」は、ジャズやフランス・バスク地方の音楽、同時代のサティへのオマージュも感じられる作品です。この名曲を、1990年ショパン国際ピアノコンクールを日本人歴代最年少で入賞した日本を代表するピアニスト、横山幸雄とお贈りします。横山は、ラヴェル本人に全曲指導を受けたベルルミュテールの個人レッスンを経験した、「ラヴェルの系譜を継ぐ」演奏家です。三鷹では数々のシリーズ企画を行い、ラヴェルの作品に特化した演奏会は2015年と16年に開催。ラヴェルの魅力を余すことなく伝える演奏が大変好評でした。近現代音楽のスペシャリストとして名高い沼尻と、ラヴェルの演奏でも定評あるミタカ・フィルとの初共演に期待が高まります。

最後を締め括るのは、ドイツ・ロマン派を代表する作曲家の一人、シューマンの交響曲第2番です。精神の病を抱えながら完成させた本作は、有名な「ピアノ協奏曲イ短調」の完成後に作曲されました。室内楽的な細やかさが魅力のミタカ・フィルの演奏で、ぜひお聴きいただきたい1曲です。どうぞお楽しみに！

沼尻竜典 (音楽監督・指揮) Ryusuke Numajiri, Music Director and Conductor



三鷹市出身。びわ湖ホール芸術監督、トウキョウ・ミタカ・フィルハーモニア音楽監督。1990年プザンノン国際指揮者コンクール優勝。ロンドン響、モンテリオール響、ベルリン・ドイツ響、ベルリン・コンツェルトハウス管、フランス放送フィルハーモニー管、トゥールーズ・キャピトル管、ミラノ・ジュゼッペ・ヴェルディ響、トリエステ歌劇場管、シドニー響等吹奏楽のオーケストラを指揮。国内ではNHK交響楽団を指揮してのデビュー以来、新星日本交響楽団、東京フィルハーモニー交響楽団、名古屋フィルハーモニー交響楽団、日本フィルハーモニー交響楽団、群馬交響楽団、日本センチュリー交響楽団のポストを歴任、さらにドイツではリューベック歌劇場音楽総監督を務めオペラ公演はもろりリューベック・フィルとのオーケストラ公演でも数々の名演を残した。自ら結成したトウキョウ・ミタカ・フィルハーモニア(旧トウキョウ・モーツァルトプレーヤーズ)との活動は三鷹市芸術文化センターを拠点に20年を超え、「ベートーヴェン交響曲全集」をはじめ数々の録音も高く評価されている。オペラ指揮者としては1997年に《後宮からの脱逃》でデビュー、近年では、ケルン歌劇場、バイエルン州立歌劇場、ベルリン・コーミッシェ・オーパー、バーゼル歌劇場、シドニー歌劇場等へも客演。また、びわ湖ホール、リューベック歌劇場でも数々のプロダクションを成功に導いている。2011年夏にはサイトウ・キネン・オーケストラデビュー、バルトーク《中国の不思議な役人》で成功を収めた。2014年1月にはオペラ《竹取物語》を作曲・世界初演、国内外で再演されている。2017年業績賞章受章。

トウキョウ・ミタカ・フィルハーモニア Tokyo Mitaka Philharmonia

トウキョウ・ミタカ・フィルハーモニアは、1995年三鷹市芸術文化センター開館時に三鷹市出身の指揮者、沼尻竜典の呼び掛けにより誕生したトウキョウ・モーツァルトプレーヤーズが創立20周年を迎えたことを機に、2016年に名称を変更したプロフェッショナル・オーケストラである。三鷹市芸術文化センター風のホールに本拠を置き、びわ湖ホール芸術監督など国内外で活躍を続ける沼尻竜典を音楽監督に擁し、メンバーは、国内外のオーケストラやソリストとして活躍する日本人演奏家が多く参加しているのが特徴である。同センターでの定期演奏会のほか、活動の舞台を三鷹市以外にも広げて演奏活動を展開する。メンバーは、みたかジュニア・オーケストラの演奏指導、三鷹市内の小中学校へのアウトリーチも行うなど、活動は多岐にわたる。2018年にリリースされた「モーツァルト：交響曲第40番、ピアノ協奏曲第18番」は、同年8月の朝日新聞で推薦盤に、ぶらあぼ同年9月号ニュー・リリース・セレクションに選ばれている。

吉野直子 (ハープ) Naoko Yoshino, Harp



ロンドン生まれ。6歳よりロサンゼルスにて、スーザン・マクナルド女史のもとでハープを学ぶ。1981年第1回ローマ国際ハープ・コンクール第2位入賞。1985年第9回イスラエル国際ハープ・コンクールに参加者中最年少で優勝。これまでに、ベルリン・フィル、イスラエル・フィル、チューリヒ・トーンハレ管、ライプツィヒ・ゲヴァントハウス管、フィルハーモニア管、フィラデルフィア管、ウィーン・コンツェントゥス・ムジクスなど国内外の著名オーケストラと共演を重ねている。リサイタルもニューヨーク、ウィーン、ロンドン、東京など世界各地で開催。また、ザルツブルク、ルツェルン、シュレスヴィヒ・ホルシュタイン、マールボロ、セイジ・オザワ松本フェスティバルなど、世界の主要音楽祭にも度々招かれ、常に好評を博している。室内楽の交流も幅広く、クレーメル、ハーゲン、今井信子、ニコレ、ランバル、シュルツ、バユ、パボラークなどと共演を重ねてきた。レコーディング活動も活発で多数録音。最新盤は「ハープ・リサイタル4〜武満・細川・吉松・ケージ・サティ」(grazioso)。国際基督教大学卒業。

横山幸雄 (ピアノ) Yukio Yokoyama, Piano



1990年ショパン国際ピアノコンクールにおいて歴代の日本人として最年少入賞を果たし、文化庁芸術選奨文部大臣新人賞など数々の賞を受賞。以来、クラシック界のトップアーティストとしてその活動は常に注目を浴びている。ショパンとベートーヴェンはライフワークとして全曲演奏にも継続的に取り組み高く評価される。自ら企画する「入魂のショパン」はギネス世界記録に認定され、2019年には3日間でショパンの全作品240曲の作品をすべて演奏し、その記録をDVDとしてリリース。2013年よりベートーヴェン生誕250年に向けた企画「ベートーヴェン・プラス」をスタート。2020年12月東京文化会館に於いて、ベートーヴェン・ピアノ・ソナタ32曲全曲演奏会という前人未踏の公演を行う。国内の主要オーケストラとの共演に加え、2015年パリにてラヴェルの全ピアノ独奏曲演奏会、2018年ポーランドリサイタルツアー、2019年ルイージ指揮デンマーク国立交響楽団公演など海外にも活躍の場を広げる。エリザベト音楽大学客員教授、名古屋芸術大学特別客員教授、日本パデレフスキ協会会長。2021年はデビュー30周年の節目を迎える。

国内外の新型コロナウイルス感染状況により、記載内容に変更が生じる場合がございます。また、風のホールにご来場のお客様に安心して主催公演をご鑑賞いただくために、必要な対策を講じております。詳細は当財団のホームページをご確認ください。皆さまのご理解とご協力をお願いいたします。



@MusicMitaka (公財) 三鷹市スポーツと文化財団・音楽部門の公式Twitterです。ぜひこの機会に「フォロー」をお願いします！

ご予約後、チケット代金の郵便振込ができます。

口座番号：(ゆうちょ銀行) 00190-5-569156
加入者名：三鷹市芸術文化センター

*「払込取扱票」の通信欄に(予約番号)をご記入ください。
*普通郵便の場合84円、簡易書留ご希望の場合404円を加算してお振込みください。
*振込手数料はお客様のご負担になります。
*お振込み後、10日程度でチケットをお届けします。

PARTNER

本公演のチケットまたはチケット半券で三鷹駅周辺の「チケットパートナーショップ」の特典が受けられます！ <http://mitaka-sportsandculture.or.jp> *サービス有効期間は公演日から7日間

託児あり

本公演には託児サービスがございます。
対象：1歳～未就学児 定員：10名(要予約)
料金：お子様一人につき500円
お申し込み：2021年2月27日(土)までに
三鷹市芸術文化センターへお申込みください。
Tel: 0422-47-5122

財団友の会「マークル」会員募集中!!

一般発売日より前に
会員先行予約があります。 MARCL

*年会費2,000円
*チケットの優先予約・割引(1公演2枚まで)、
ポイントの還元(ご利用額の5%)情報誌の送付、
チケットの送料送料(口座会員のみのみ)。



三鷹市芸術文化センター

181-0012 三鷹市上連雀6-12-14
Tel: 0422-47-5122
JR三鷹駅南口2番バス乗り場から
「八幡使・芸術文化センター」下車すぐ。
または6・7番乗り場から「八幡前」下車1分。
または徒歩約15分。

*公演の内容等は、やむを得ず変更となる場合がございます。*公演中止の場合を除き、一度購入されたチケットの払戻し、交換はできませんので、何卒ご了承ください。

*未就学のお子様の入場はできません。また、危険防止のため、小学生のお子様は、2階正国最前列はご遠慮ください。*2階席へのエレベーターはございません。階段をご利用ください。*お車での来場はご遠慮願います。